

○ホソハリカメムシ

【生態と特徴】

成虫は年2回出現し、畦畔や土手などの雑草の下で成虫越冬する。

5月頃から出現し、イネ科雑草で生活する。イネが出穂すると水田にも侵入して繁殖・加害する。

成虫は体長10mm程度で、前胸部の両端がとげ状に突出している。体色は全体が暗褐色である(写真)。

口吻が丈夫で籾を貫通できるため、玄米を無差別に加害する。

【防除対策】

防除は、水田周辺及び水田内のイネ科雑草の管理と薬剤防除が主体となる。薬剤の散布時期等はクモヘリカメムシの防除に準じる。詳細は「斑点米カメムシ類の防除対策について」を参照すること。



写真 ホソハリカメムシ成虫